

柏市自立支援協議会 全体会 部会報告及び連携機関報告シート

【部会名】 相談支援部会

【部会長】 地域生活相談センター シヤル
関口 篤行

1. 相談支援部会

(1) 第3回相談支援部会 (8月23日開催)

ア 部会委員の検討 (全体会を受けて)

全体会で意見があった当事者の部会参画について検討を行った。柏市及び部会長から柏市障害者連絡協議会 (以下、柏障連) から1名、選出依頼することを提案し承認された。部会長より柏障連へ次回の部会より参加して頂く予定で代表者を選出して頂くよう依頼することとした。

イ ワーキンググループの検討

7月の相談支援連絡会で周知を行い8月の部会まで委員を募ったが、2名の自薦だったため、部会から6名の推薦を行った。推薦者には部会長から個別に連絡を入れ承諾を頂くこととし、10月の開催に向け調整することとした。

ウ 障害児相談支援モニタリング頻度について

7月の相談支援連絡会において (児童福祉法の) 障害児相談支援モニタリング頻度については、障害者総合支援法 (以下、「総合支援法」という。) のサービスと一体的な計画を作成する場合について議論があった。報酬算定の際は、障害児相談支援が優先されるため、モニタリング頻度は児童福祉法の規定する頻度が適用され、総合支援法で定めるモニタリングは行う必要が無く標準は6ヶ月毎となる。障害児でも通所サービスの計画が無く総合支援法で定めるサービスのみ利用する場合にあっては、計画相談支援となることからモニタリング期間は3ヶ月毎と説明があった。再度説明を求めた所、厚労省へ確認中であり判明次第、説明を受けることとした。

エ 次期プラン策定に向けた検討状況

①アンケート調査について柏市より説明を受けた。

セルフプランの解消に向けた相談支援事業所の確保。事業所間の地域単位での連携。不足している地域資源や障害種別によるサービス利用の格差。医療的ケアや行動障害の方の生活の場。意思決定支援。相談員のメンタルサポート等について意見交換。10月部会でさらに掘り下げ、12月部会で集約。2月の全体会に提出

②市の組織改正や障害児の権限移譲など、行政の取り組みの変更に伴う諸課題 (非定型、児童のモニタリング頻度、重症心身障害児の児童発達支援の支給要件等) を行政を交えて意見交換をしており、結果はより良い相談支援に向け反映させたい。

2. 相談支援部会及び相談支援連絡会のスケジュール

(1) 相談支援部会のスケジュール

偶数月の第4金曜日を基本に開催。

(2) 相談支援連絡会のスケジュールとテーマ

回	日	主催	主な内容
7	10月	地域生活相談センター シャル	くらし部会合同開催 GH等支援ワーカーの役割について
8	11月	ぶるーむの風	テーマ未定
9	12月	地域生活相談センター シャル	こども部会合同開催 放デイ事業所との情報共有について (仮)
10	1月	権利擁護あさひ	非定型ケースについて (仮)

3. 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業

(1) 第1回 (5月22日開催)

前年度代表者会議で発表した「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」の説明及び柏市の地域課題（保健医療面）の報告、及び、意見交換を行った。今年度より新たに訪問看護ステーションと地域包括支援センターも委員に加わり、医療・福祉・介護・住まい・地域の助け合い・教育が包括的に確保された地域づくりを目指し、協議していく。

(2) 第2回 (7月24日開催)

前年度代表者会議で発表した柏市の地域課題（行政、障害福祉面）の報告、及び、意見交換を行った。

8月、9月に開催したコア会議にて第1回、第2回の実務者会議で頂いた意見を基に、現状を洗い出し、基本目標を設定。第3回実務者会議より目標達成のための施策（具体策）を検討する。

今年度は、柏市の地域課題の解決に向けて「柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進のための取組シート」を作成する。来年度より具体策の実施、評価、改善を行い、5年後の目標達成を目指す。

【今後の活動予定】

1 障害者相談支援連絡会 毎月第3金曜日を基本に開催。

2 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 2ヶ月に1度開催。

【部会名】 はたらく部会	【部会長】 よつば工房 室山 圭史
<p>1 はたらく部会（第2回：9月25日）</p> <p>ア 当事者の参画について 全体会で意見があった当事者の部会参画について検討。来年度より部会へ参加いただけるように調整する。依頼する障害者団体や参加形態については、他部会を参考に検討中。障害者団体へ依頼後、双方の目的を再度確認したうえで、擦り合わせを行う予定。</p> <p>イ 定着支援事業について 柏市の現状として、支援学校卒業後の生徒に対する定着支援が薄く、離職率も高い。柏市として、若年層の方々に対するサポート体制を考えたい。他、就労移行支援事業を使わず、就労継続支援A型・B型事業から一般就労した方へのサポートについても今後の課題となる。ジョブコーチ事業や定着支援事業の活用方法なども含め、当事者の意見を聞きながら検討する。</p> <p>ウ ノーマライゼーションかしわプラン2021について（重点施策3） 「職場定着支援の充実」は、就労定着支援の課題が見えてきているため、具体的な事業や取組を記載したい。「工賃向上の取組強化」は、事業所同士の繋がりを強化し、共同で実施できるものが必要との意見がある。工賃向上に対する現状のニーズ把握や事業所のアピール方法等の検討が必要。</p> <p>2 一般就労連絡会（第2回：7月31日）</p> <p>ア 研修について 今年度、定着支援事業について研修を実施する。時間帯は、夕方に設定。講師は、障害者就業・生活支援センター「就職するなら明朗塾」の副センター長をお呼びし、定着支援における生活支援についてご講演いただく予定。</p> <p>イ 4市合同準備会について パネルディスカッションでの質問や、開催頻度の見直しについて検討。他、企業の相談場所としてハローワークの窓口を明確にする等の意見がある。</p> <p>ウ ノーマライゼーションかしわプラン2021について ・就労定着支援事業 兼任職員の負担軽減、関係機関同士の引継ぎ、障害者の生活面に対する支援力向上等が課題。就労移行支援事業や地域若者サポートステーション利用者の障害の重さが上がっていることで、就労定着支援事業の重要性が強くなっている。</p> <p>3 福祉的就労連絡会（第2回：10月30日） 第2回目を10月30日に開催予定。</p>	

4 次期プラン策定に向けた検討状況

ア 職場定着支援の充実

生活面の課題から離職になるケースが多いことから、定着支援における生活面の支援について11月27日に研修を実施予定。現状の課題に対して、柏市としてどのような取組みができるのか検討を重ねる。

イ 工賃向上の取組強化

工賃向上を目指す中での支援方法や高齢化・能力の幅による作業の割り振り方法などの課題があるため、連絡会をとおして情報交換や支援方法について検討していく。また、福祉的就労について、利用者・保護者のニーズに変化がみられ、現状のニーズ把握や事業所のアピール方法等は検討が必要。

【今後の活動予定】

1 はたらく部会

- ・第3回：令和2年1月21日

2 一般就労連絡会

- ・第3回：11月27日、第4回：令和元年12月25日
- 第5回：令和2年1月20日
- ・令和2年2月7日、流山市にて4市合同企業セミナーを開催予定。

3 福祉的就労連絡会

- ・第2回：10月30日、第3回：令和2年1月20日
- ・令和元年12月6日、アリオ柏にてMONOづくりマルシェを開催予定。

(3) サポートファイルについて

チラシを作成し、記載内容や配布箇所について意見交換を行った。サポートファイル勉強会は9月にこども発達センター、リトルペガサスで開催。

・第3回早期支援担当者会議（9月25日開催）

(1) サポートファイル説明会について

キッズルームひまわり（9月11日）とリトルペガサス（9月19、20日）にて書き方についての勉強会を実施し、保護者や児童発達支援事業所職員が参加した。

(2) サポートファイルについて

チラシの記載内容について修正確認を行い、年内完成、配布を目指す。学期以降のシート内容については今後会議の中で検討していくこととした。

4. 政策提言に向けた検討状況

(1) 現行計画の柱5「子どもの成長への支援」に基づき、今年度より児童発達支援連絡会をスタートさせた。情報交換を通して政策提言に向けた検討を行っている。

(2) 早期支援担当者会議にて、児童発達センターからの情報提供、療育支援事業の推進を通じた課題の検討、さらにサポートファイル推進に当たっての課題について検討を行っている。

(3) 放課後等デイサービス事業所の推進の課題として、例えば次の検討を行っている。

①情報共有の運用について、事業所ごと実施の有無、形式等が統一されていないなどの意見が出されていたため、12月に相談支援連絡会と事業担当者会議合同開催にて検討予定。

②権限移譲されたことに伴う課題について、例えば利用定員について討議。

【今後の活動予定】

1 こども部会

・第3回 1月20日（月）10時～12時

2 事業担当者会議

・第3回 12月 6日（金）10時～12時（相談支援連絡会と合同開催）

3 早期支援担当者会議

・第4回 12月11日（水）15時半～17時

・第5回 2月26日（水）15時半～17時

4 児童発達支援連絡会

・第2回 10月25日（金）14時～15時半

<p>【部会名】 暮らし部会</p>	<p>【部会長】 社会福祉法人 彩会 平山 隆</p>
<p>1 第1回グループホーム等連絡会（令和元年7月17日開催）</p> <p>（1） 第1回暮らし部会の報告（昨年度の振り返り）</p> <p>（2） 今年度のスケジュール確認、議題の検討</p> <p>（3） グループワーク</p> <p> ア グループホーム等支援ワーカーの役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループホームの空き情報や施設情報が知りたいため、1か所に情報が集約されるとよい。 ・グループホームでの生活の困り感について相談できる人がほしい。 ・グループホームの特徴、現場スタッフ等を良く知っているグループホーム等支援ワーカーが客観的な情報をもとにマッチングをしてくれるとよい。 ・相談側と事業所との中間的な役割を担って欲しい。 <p> イ 松戸圏域合同研修会（世話人向け）の内容について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害特性による支援方法の違い、事例検討をしてほしい。 ・利用者との接し方を研修で取り上げてほしい。 ・支援向上の取り組みについて取り上げてほしい。 <p>2 第2回暮らし部会（令和元年8月7日開催）</p> <p>（1） 各連絡会の報告、今後の予定の確認</p> <p>（2） 意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身元引受人がいないとトラブルになったケースもある。 ・今後、看取りや身元引受人などの課題が出てくる。看取り加算はないか。 <p>（3） 就職フェアについて</p> <p> 日程：10月19日（土）13：00～16：00</p> <p> 場所：柏の葉カンファレンスセンター2階（三井ガーデンホテル柏の葉内）ルーム1、2</p> <p>3 第2回居宅支援連絡会（令和元年9月12日開催）</p> <p>（1） 第2回暮らし部会の報告</p> <p>（2） グループワーク（事例検討）</p> <p> 【テーマ】 知的障害者の居宅支援（移動支援を利用しているケース）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパーの高齢化、人材不足が課題。 ・移動支援の依頼が土日に集中しており対応しきれない。 ・利用者の特性や性別で対応できるヘルパーが限定されてしまう。 ・外出時の暑さ対策、走り出し等への安全対策を考えていく必要がある。 	

4 政策提言に向けた検討状況

(1) 平成30年度 提言内容について経過報告

①人材確保：柏市主催で就職フェアを開催予定。10月19日（土）に実施

②研修助成：医療的ケアの3号研修について、費用助成を他市の状況を調べ、情報収集をしているところ。可否についても検討中。

③グループホーム等支援ワーカーの配置：グループホーム等支援ワーカーの役割は、相談、情報発信、新規開設のサポート、グループホーム同士の調整等であり、どの業務が必要なのか調査してほしいと柏市が回答。

④移動支援の支給量、単価：単価を変えるのは柏市だけでは難しいとの回答。部会からは、身体あり（なしをなくす）、通学通所支援、グループ支援（複数人での外出）等、利用方法の幅を広げてほしいと要望。柏市検討中。

(2) 令和元年度 検討状況

①グループホーム等連絡会

昨年度に引き続き、グループホーム等支援ワーカーについて検討中。10月25日（金）第2回グループホーム等連絡会にて、相談支援連絡会と合同で開催。「グループホーム等支援ワーカーの役割」をテーマに松戸圏域障害者グループホーム等支援ワーカー 桑田良子氏をお招きして研修会を行い、グループホーム等支援ワーカーの役割について理解を深め、相談支援専門員を含めて、柏市にはどのような役割が必要であるのか、グループワークを通して検討する予定。

②居宅支援連絡会

看取りについての事例検討を行った。グループホーム等や自宅でヘルパーが行う看取りについて、事業所の同意書、身元引受人、見取り加算などの課題が出ており、検討が必要。

【今後の活動予定】

1 暮らし部会

・第3回 令和2年1月16日（木）10時から12時

2 グループホーム等連絡会

・第2回 10月25日（金）10時から12時 相談支援連絡会合同開催

・第3回 12月10日（火）10時から12時 松戸圏域合同開催

3 居宅支援連絡会

・第3回 11月20日（水）10時から12時

【連携機関名】

柏市障害者差別解消支援地域協議会

【事務局担当】 障害福祉課 吉田

1. 開催報告

(1) 第1回柏市障害者差別解消支援地域協議会（6月21日開催）

(テーマ)

ア 平成30年度障害者差別相談受付状況の報告について

イ 差別解消に関する啓発活動について

ウ その他

(2) 第2回柏市障害者差別解消支援地域協議会（11月8日開催予定）

2 トピックス

(1) 啓発活動について

会議の中で障害者差別について啓発活動の重要性を確認した。共生社会の実現に向けて、障害者差別についての認知度が低いことが相談件数にも表れている。そのため、今後は特に啓発活動のあり方について協議会の中でも検討していくこととなった。

【今後の活動予定】

権利擁護コア会議や柏市障害者差別解消支援地域協議会の中で、特に啓発活動のあり方について検討していく。

【連携機関名】

柏市障害者権利擁護ネットワーク会議

【事務局担当】 障害福祉課 小野

1. 開催報告

(1) 第1回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議（6月21日開催）

(テーマ)

- ア 令和元年度柏市障害者権利擁護ネットワーク会議活動方針について
- イ 障害者虐待の通報・届出の受付状況について
- ウ 障害者虐待対応の検証（2ケース）
- エ その他

(2) 第2回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議（11月8日開催予定）

(3) 第1回柏市障害者権利擁護研修会（7月17日開催）

(テーマ)

- ア 障害者虐待防止法の概要と実践について
- イ 講師 萩原 得誉氏 東葛総合法律事務所 弁護士
- ウ 対象者 障害福祉サービス事業所新任職員等
- オ 参加者 61名

(4) 第2回柏市障害者権利擁護研修会（10月25日開催予定）

(テーマ)

- ア アンガーマネジメントの基礎（入門編）
- イ 講師 阿部 美樹雄氏 社会福祉法人みずき福祉会 理事長
- ウ 対象者 障害福祉サービス事業所従事者等

2 トピックス

(1) 当事者ヒアリングについて

当事者ヒアリングを6月15日に実施。その後、ヒアリング結果をコアメンバーにおいて、どのようにまとめ、各関係会議に伝えていくのかを検討した。その結果、相談支援部会やくらし部会などに当事者ヒアリング結果を報告した。今後は障害者権利擁護ネットワーク会議においても当事者ヒアリング内容について検討する予定。

(2) 障害者権利擁護研修について

今回のテーマとして「アンガーマネジメントの基礎」とした。その理由としては、障害者虐待の傾向としては、養護者からの虐待件数が第1位となっており、次いで障害者福祉施設等従事者等の虐待が2位となっている。虐待内容として身体的・心理的虐待が多く、利用者への対応の中で発生している。原因としては、障害者虐待についての理解不足や職員自身の怒りのコントロール不足から虐待に至るケースが多い。そのため、怒りのコントロールについて知ることとは、障害者虐待防止の一助となりうるため、今回とテーマとした。

【今後の活動予定】

障害者虐待防止の促進のため、虐待ケースの検証及び障害者の権利擁護について検討を重ねていく。

権利擁護の観点からも、当事者の声について、各関係会議に報告し、今後の進め方についても検討を重ねていく。

【連携機関名】

柏市医療的ケア児等支援連絡会

【事務局担当】

社会福祉法人ぶるーむ

1. 開催報告

第2回 連絡会（本会）

2019年10月24日開催予定

《議題》

- ・ワーキングの進捗状況報告
 - ・10月22日 ヒアリング結果報告
 - ・ノーマライゼーションかしわプランの評価・振り返り
 - ・主に重心児を対象とする障害児通所支援給付の支給決定基準について 等
- ※ 10月1日 コアメンバー会議にて内容の詳細を検討

ワーキンググループ

1. 医ケア児の普通学校への受け入れ支援体制について

2019年8月19日開催

《議題》

- 市立小学校への医ケア児受け入れ支援体制について 来年度にむけての課題
 - ① 柏市立小中学校における医療的ケアの実施状況
 - ② 今後の医療的ケアの実施の見通しと課題
- 意見交換
 - ① 看護師の確保募集の工夫について
 - ② 看護師への指導助言を行う指導医の確保及び相談体制の確立について
 - ③ 医療的ケア指導医による医療的ケア実施校訪問及び、個別の手技等に関する看護師等への指導について

2. 医ケア児の通学支援について

2019年9月18日開催

《議題》

- 現行制度下で対応可能な通学支援について～市役所より制度説明
- 事例紹介～放課後デイすくすくで行っている通学支援について
- 意見交換
 - ① どのような条件が整えば通学支援を実施できるか（予算、保有資格、車使用の可否、所有時間等）
→教育委員会、障害福祉課がそれぞれ意見として出た内容を持ち帰り検討

2 トピックス

- ・ 医ケア児の通学支援に関するアンケート結果報告およびヒアリングを実施予定
2019年10月22日（火・祝）10:30～12:00 たんぽぽセンター ホールにて

【今後の活動予定】

第3回連絡会（本会）…2020年2月 日（木）開催予定

ワーキンググループ 各ワーキングを3か月程度毎に開催予定

【連携機関名】

柏市地域生活支援拠点運営協議会

【事務局担当】 障害福祉課 長谷川

1 開催報告

(1) 第1回柏市地域生活支援拠点運営協議会（令和元年6月5日開催）

「拠点到期待すること」をテーマに、協議を行った。

ア 地域生活支援拠点到ぶる一むの風近況報告

イ 柏市の地域生活支援拠点（以下、拠点）の進め方について

ウ 拠点到期待すること

エ 拠点の周知について

2 トピックス

(1) 継続的に検討しているテーマ

ア 柏市における拠点の進め方について

・「柏市地域生活支援拠点の運営の進め方（ガイドライン）素案」に基づき、拠点到（代表者会議、実務者会議）と行政で共同して進めていく。

・今後の方向性として、地域包括支援センターを意識しつつ、4拠点到それぞれの強みもあるため、そこを活かしながらこれまで以上に連携を図る。

イ 緊急の定義、緊急時のサービス利用について

ウ 4拠点到行政間の情報共有について

(2) その他

ア 公募委員の参加について

・事務局（障害福祉課）より、公募委員を選任（吉元 佳子氏）。

・第2回協議会より参加予定。

イ 開催場所について

・これまでは市役所会議室等で行っていたが、地域生活支援拠点で開催する予定（第2回：あおば、第3回：たんぽぽ）。

【今後の活動予定】

1 開催予定

(1) 第2回：令和元年10月23日（水）地域生活支援拠点あおばにて

・ノーマライゼーションかしわプランアンケート報告

・各拠点の活動報告

・地域生活支援拠点実務者会議の報告

・柏市の課題や拠点到期待すること

(2) 第3回：令和2年1月27日（月）たんぽぽセンターにて開催予定